



藤村 和宏 先生

私の専門であるマーケティングの視点では、消費者が自動車を購入するのは、自動車それ自体が欲しいからではなく、それを利用することで生み出される「移動」、「自分だけの空間」、「自分の見え方（たとえば、金持ち）」といった便益を享受するためです。大学という教育サービスも多様な便益を提供していますが、当ゼミでは「未来を切り開く機会」という便益を提供しています。高校までの勉強では「答えのある問題が与えられ、その答えの導き方を学び」ますが、当ゼミでは「解決を必要とするが、答えのない重要な問題を自ら発見し、その答えを自ら創り出すことを学ぶ」ことを通じて、この便益を提供しています。

### 企業・社会コース

企業に関する本質的な理解を深め、企業と社会のかかわりを学ぶことにより、経営に対するバランス感覚や複眼的思考を具備した人材を育成します。

#### 想定される進路

経営管理部門  
公務員

### 組織・戦略コース

組織・技術・市場といった経営に関わる多様な内容について学び、戦略的な意思決定のできる専門知識・能力を育成します。

#### 想定される進路

起業家  
民間企業のマーケティング部門

### 会計コース

会計に関する専門知識を身につけ、これからの社会で会計人として活躍できる人材の育成を目指します。

#### 想定される進路

企業の経理部門  
税理士



企業活動のグローバル化、情報化の進展、地球環境との共生など、企業を取り巻く環境は、21世紀に入りますますます急速に変化しています。こうした状況の中で、企業がそのステイクホルダー（利害関係者）との良好な関係を構築しつつ、激しい市場競争に勝ち抜き成長するためには、企業の状況を正確に把握する専門的知識や経営の問題を解決するスキルが必要です。経営システム学科では、このような能力を育成するために、「企業・社会コース」「組織・戦略コース」「会計コース」の3つのコースを設けています。

## 吉田 誠 先生

現在、企業における人的資源（人事労務）管理のあり方は大きく変化しており、人々の働き方や生活に大きな影響を与えています。成果主義、雇用形態の多様化、ワーク・ライフ・バランスなどの言葉を耳にしたことのある人も多いでしょう。

私のゼミでは企業で働く人たちのインタビュー調査を実施し、こうした変化がどのような影響を与えているのか調べてきました。この調査が自分のキャリアを考えるきっかけになったという学生も多く、これからも続けていきたいと考えています。一緒にこれからの働き方について考えていきませんか。

## 宮脇 秀貴 先生

人にもメロディーがある。雰囲気、しぐさ、声、笑顔、価値観など、誰一人、同じメロディーを奏でることはない。そして、人との交流は、私たちにハーモニーを与えてくれる。Mr.Childrenの『エソラ』という曲に「メロディーラインが描いたカラフルな希望のフレーム」という歌詞がある。あなたも、あなたのメロディーでハーモニーの輪を奏で、あなたの「夢」や「希望」、何より「あなた自身」を描いてみようよ。会計という楽器を用いて。

## 経営システム学科

## 学科基礎科目（2009年度入学生より）

原価会計論、経営学原理、現代企業論、人的資源管理論、経営組織論、マーケティング論、流通システム論、リスクと保険、会計学総論、管理会計論

## コース科目

リスクマネジメント総論、環境システム論、商品システム論、技術経営論、経営学史、経営史、保険システム論、資源エネルギー論、商品実験、企業と社会、経営財務論、消費者行動、経営統計学、調査データ分析、国際経営論、中小企業経営論、原価計算基礎論、株式会社社会計、監査論、原価計算論 など